

意見書

教 科
特別の教科 道徳

種 目
道 徳

発 行 者
東京書籍

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・ 現代的な課題に対応した教材数 (学年平均) いじめ関連 3 生命尊重 3 ・ いじめについて複数の教材をユニット化し、連続する 3 つの教材は視点 A で、内容項目は複数であり、多面的多角的に考えられるようにしている。 ・ 教材の形態が読み物・漫画・サミットの議事録と多様であり、生徒の意欲を喚起しやすい。
	(2)	・ 重点としている内容項目 A－2 節度節制 (2 つの学年で 2 教材) D－1 9 生命の尊さ (全学年 3 教材)
	(3)	・ 全ての教材の最後に「考えよう」「見つめよう」を設け、登場人物と自分を重ねて考える発問を位置付けている。 ・ 投書や写真資料から課題を設定し、対話することで考えをもつ教材を位置付けている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・ 教材の最後に発問が位置付けられている。「考えよう」で中心発問、「見つめよう」では道徳的価値の意義を理解するための発問を提示して、段階的に考えを深めることができるようになっている。 ・ 「～をぐっと深めよう」では、「考えよう」「見つめよう」のどちらかをより深める発問が提示され、生徒が考えを深めるための視点が提示されている。 ・ NHKforschool を紙面にした教材を位置付け、生徒の実態に応じて映像でも学ぶことができるようになっている。
	(2)	・ 巻末に学期毎に自分の学びを振り返るシートが添付されており、その学期で学習した心の残った教材と、その教材で学んだことを記述したり、次の学期の学びに向かう姿を目標として考えたりする頁がある。 ・ デジタル資料としてワークシートが添付されている。
	(3)	・ 二次元コードは、教材のタイトルの下と、pLus+の一部についている。 ・ 二次元コードの下には、映像、ワークシートなどのマークがついていて、何をするのか示されている。 ・ 全ての教材で朗読を聞くことができる。
3 印刷・製本等	(1)	・ AB判 ・ 1 年 総ページ 197 重量 374.4 ・ 3 年 総ページ 205 重量 386.7 大きくて重い
	(2)	・ UDフォントを使用 ・ 本文直下、5 行ごとに行番が付いている。 ・ 文節改行している教材もある。
	(3)	・ 巻末には 4 つの視点別の教材一覧表が位置付けられていて、現代課題との関連、他教科との関連、デジタルコンテンツ等を見開きで確認できる。 ・ 巻末付録の「心情円」は、個別の支援や全体の価値理解を把握する上で有効活用できる。

意見書

教 科
特別の教科 道徳

種 目
道 徳

発 行 者
教育出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・ 現代的な課題に対応した教材（平均学年教材数） 生命尊重… 2 いじめ… 2 ・ 複数の教材とコラムでユニットを編成し、教材の上部に「いじめをなくそう」と表記している。 ・ 「さあ、道徳を始めよう！」のページを設け、話合いの進め方を 5 つのステップで記載し、話合いのポイントも記載している。
	(2)	・ 重点としている内容項目 B－6 思いやり、感謝 C－1 2 社会参画、公共の精神 D－2 0 自然愛護
	(3)	・ 教材の題名の下に日常と教材とをつなぐ問いが明示されたり、教材の最後に「学びの道しるべ」を設け、考えが深まるように発問が位置付けたりしている。 ・ 問題解決的な学習（各学年 3 時間以上）や役割演技などの体験的な学習に対応できる教材（各学年 1 時間以上）が位置付けられている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・ 全ての教材の始めに、資料導入や価値導入をする発問が位置付けられている。（資料導入：3 年 P 82 価値導入：3 年 P 132） ・ 教材の最後に、「主人公の言動について考える問い」「内容項目に関わる問い」「自分の生き方について考える問い」と 3 段階で発問が位置付けられており、生徒は段階的に考えを深めることができるようになっている。（3 年 P 117）
	(2)	・ 巻末に学期毎や年度末に自分の学びを振り返るシートが添付されている。 ・ 振り返りは「心に残った教材とその理由」「学んだことに関連する経験」「自分の心の成長」の観点で記述するようになっている。
	(3)	・ 二次元コードの数 1 年 52 2 年 57 3 年 53 ・ 教材タイトル下やコラムなどについており、数が最も多い。
3 印刷・製本等	(1)	・ 大きさは、B5判 ・ 1 年 総ページ 200 重量 374.2 ・ 3 年 総ページ 192 重量 361.2
	(2)	・ UDフォントを使用 ・ 本文直下、5 行ごとに行番が付いている。
	(3)	・ 巻頭の目次は 4 つの視点別に教材を色分けされている。 ・ 巻末には 4 つの視点別の教材一覧表が掲載されている。 ・ 巻末に、1 年間学習した教材と SDGs との関連が分かる一覧表が掲載されている。

意見書

教 科
特別の教科 道徳

種 目
道 徳

発 行 者
光村図書出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・ 現代的な課題に対応した教材数 (学年平均) いじめ関連 3 生命尊重 3 情報 1 ・ いじめについて複数の教材をユニット化し、その教材は視点 A で、内容項目は複数であり、多面的多角的にいじめについて考えられるようにしている。また目次としては連続しているが、教材の形態が読み物 (旧新)・漫画と多様であり、生徒の学ぶ意識を継続しやすい ・ キャリア教育と関連した教材がどの学年も他者と比べて多い。
	(2)	・ 重点としている内容項目 C－11 公正、公平、社会正義 D－19 生命の尊さ ・ 3 年生で視点 A に重点が置かれている。(進路を踏まえた配列)
	(3)	・ 全ての教材に「考えよう」を設け、自分事として教材を考える発問を位置付けている。また、教材に即して教材の巻頭や巻末など掲載位置をかえたり、マップのように記述したりして、道徳的価値について多面的・多角的に考えられるようになっている。 ・ 「チャレンジ 問いを立てよう」で自分達で問いを立て対話する場面を意図的に設定している。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・ 教材の右上に、道徳科の内容項目が明示されている。 ・ 「考えよう」に「見方を変えて」「つなげよう」が位置付けられ、自分の考えを深めたり、これからの自分の生き方を考えたりできる発問が提示され、段階的にねらいに迫るようになっている。 ・ 現在活躍する人を扱った教材、写真、表やグラフなど教材の内容も形式も多彩で、生徒の興味関心を高揚する内容となっている。 ・ 学校生活や将来につながる教材では、話合いのステップを示し、問題を対話で解決しながら道徳的価値に迫るように構成されている。
	(2)	・ 巻末に毎時間、考えたことをメモするシートが添付されている。 ・ 年間指導計画の始めと終わりに、1 時間、道徳科の始めとまとめの頁を位置付け、年間の心の成長と、これからの自分について考えることができる構成になっている。また、そのためのシートが添付されている。
	(3)	・ 教材によってコンテンツの内容を精選している。 ・ 二次元コードの横に、コンテンツの内容についての記述がある。
3 印刷・製本等	(1)	・ B5 変型判 ・ 1 年 総ページ 184 重量 341.3 ・ 3 年 総ページ 192 重量 354.3
	(2)	・ UD フォントを使用 ・ 本文直下、5 行ごとに行番が付いている。 ・ 紙が黄色を混ぜた色で、見やすい。
	(3)	・ 「道徳道案内」で、1 年間の時期に応じたテーマが示されている。 ・ 教材最後に SDG's、他教科との関連を示すマークが明記されている。 ・ 教科書が開きやすい綴じ方になっている。

意見書

教 科
特別の教科 道徳

種 目
道 徳

発 行 者
日本文教出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・現代的な課題に対応した教材(平均学年教材数) 生命尊重 3 いじめ 5 ・「いじめと向き合う」と「よりよい社会を考える」の 2 つのユニットを年間複数回位置付けている。 ・「いじめ」では、発達の段階に応じた教材数になっており、現代的な課題に関するテーマは「自立共生」が多い。 ・巻頭でミニ教材をもうけ、見開きで学習過程を 3 つのステップで詳しく掲載している。
	(2)	・重点としている内容項目 C-12 社会参画、公共の精神 D-19 生命の尊さ
	(3)	・全ての教材に「考えてみよう」「自分にプラス+1」を設け、考えが深まるように発問を位置付けている。 ・「学びを深めよう」で、道徳的な課題を見つけ、それを話合う場面を意図的に位置付けている。 ・「学びを深めよう」で、役割演技による学習を位置付け、実感を伴って学べるようになっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・「考えてみよう」「自分にプラスワン+1」として教材ごとに発問が位置付けており、生徒は段階的に考えを深めることができるようになっている。 ・「学びを深めよう」という頁が設けられ、その頁に話合いのための思考ツールを提示し、協働的な学びを充実するための工夫がある。
	(2)	・別冊ノートで毎時間振り返りができ、教師の業務軽減につながる。 ・教材の巻末の「考えてみよう」「自分にプラス 1」を書く欄が設けてある。
	(3)	・全ての教材に二次元コードが掲載され、教材をより理解しやすい資料が添付されている。 1年 47 2年47 3年47
3 印刷・製本等	(1)	・ B5判 ・1年 総ページ 176 重量 294.4 ・3年 総ページ 192 重量 314.8 ・軽くて持ちやすい。
	(2)	・UDフォントを使用 ・本文直下、5行ごとに行番が付いている。
	(3)	・巻頭の目次は4つの視点別に教材を色分けしている。 ・巻末には4つの視点別の教材一覧表により、現代課題との関連、他教科との関連が俯瞰できる。

意見書

教 科
特別の教科 道徳

種 目
道 徳

発 行 者
Gakken

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・ 現代的な課題に対応した教材数 (学年平均) いじめ関連 5 生命尊重 3 ・ いじめに関連する教材はユニット化せず、教材ごとに「いじめ防止」のマークを表記している。 ・ いじめに関する教材は 3 年間で 18 教材を位置付けている。 ・ 現代的な課題 3 つ (SDG's、多様性、キャリア教育) のユニットを構成している。
	(2)	・ 重点としている内容項目 B-8 友情、信頼 D-19 生命の尊さ
	(3)	・ 全ての教材に「考えよう」を位置付け、登場人物の心情や、判断・言動の理由を考えることができるようになっている。 ・ 「深めよう」では、追究する課題を自分達で考えて話合ったり、異なる立場で話合ったりする学習活動を位置付けている。 ・ 「深めよう」では、役割演技による学習を位置付け、実感を伴って学べるようになっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・ 教材の最初に、資料導入のフレーズが提示されている。 ・ 教材の最後「考えよう」では、①で資料の中心発問を、②で自分を見つめて考える発問を位置付けている。 ・ メモ欄があり、自分の考えを書きやすい。 ・ 多くの教材の後に、「深めよう」や「クローズアップ」を位置付け、話合うことで考えを深めたり、別資料で考えを広げたりできるようになっている。
	(2)	・ 巻末に、毎時間学習した教材についてメモするシートが添付されている。 ・ 巻末に学期毎の自分の学びを振り返る「学びの記録」シートが添付されており、自分の学びに向かう姿や、心に残った教材について振り返り、学んでよかったことやこれからに生かしたいことについて考えることができる。
	(3)	・ 二次元コードで、資料に関連する写真や動画など、思考ツールとしてのワークシートを活用することができる。
3 印刷・製本等	(1)	・ A B 判 ・ 1 年 総ページ 187 重量 358. 0 ・ 3 年 総ページ 195 重量 372. 6
	(2)	・ UD フォントを使用 ・ 本文直下、5 行ごとに行番がついている。
	(3)	・ 巻頭の目次は 4 つの視点別に教材を色分けしている。 ・ 目次には教材の冒頭の視点のマークの説明がある。 ・ 巻末には 4 つの視点別の教材一覧表がある。 ・ 巻頭で、パソコンやタブレットの活用方法を明示している。

意見書

教 科
特別の教科 道徳

種 目
道 徳

発 行 者
あかつき教育図書

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・ 現代的な課題に対応した教材 生命尊重 3 いじめ 2 ・ 現代的な課題 4 つ（いじめ、共生、キャリア教育情報）のユニットを構成している。 ・ 各テーマごとに教材が分類されている目次があり、テーマから教材を選択しやすくなっている。 ・ 巻頭に「道徳科の時間は自分を見つめ、考え、生きる時間」として、3つの学習過程と 22 の内容項目を見開きで掲載している。
	(2)	・ 重点としている内容項目 A－1 自主、自律、自由と責任 B－6 思いやり、感謝 D－19 生命の尊さ
	(3)	・ 教材によって「自分を見つめて考える」を設け、自分と人物を重ねて考える発問を位置付けている。 ・ 答えのない教材を位置付け、話合うことで多面的・多角的に考える場面を設定している。 ・ 「MY PLUS」の頁で、役割演技による学習を位置付けたり、体験的な学習を位置付けたりして、実感をもって学べるようになっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・ 教材最後に「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」で発問を位置付け、資料の内容やねらいによって、自分と重ねて考えたり、複数の人物の立場から考えたりできるようになっている。 ・ 「考えを深める」で、より道徳的価値を問う深めの発問を位置付け、ねらいに迫るようになっている。 ・ 「MY PLUS」では、写真を提示して考えたり、目標設定シートから考えたりできるようになっている。
	(2)	・ 巻末に学期ごとに自分の学びを振り返るシートが添付されており、心に残った授業とその理由、これからの自分に生かしていきたいことを考えることができる。 ・ 巻末に 1 年間の学びを振り返るシートが添付されている。
	(3)	・ 二次元コードで、映像や写真資料を活用できる。
3 印刷・製本等	(1)	・ B5判 ・ 1 年 総ページ 184 重量 320.4 ・ 3 年 総ページ 184 重量 319.3
	(2)	・ UDフォントを使用 ・ やや太めの丸いフォントが使われており、読みやすい。 ・ 本文直下、5 行ごとに行番が付いている。
	(3)	・ 巻頭に、各教材を深めたり広げたりするためのツールの説明（Thinking、マイプラス、二次元コード）と教材ごとにマークが付いている。 ・ 目次に教材の冒頭の視点のマークの説明がある。 ・ 巻末には 4 つの視点別の教材一覧表がある。 ・ 巻末に SDGs や郷土に関連する資料が位置付けられている。

意見書

教 科
特別の教科 道徳

種 目
道 徳

発 行 者
日本教科書

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・ 現代的な課題に対応した教材（平均学年教材数） 生命尊重… 2 いじめ… 4 ・ いじめ問題に関する複数の教材をユニット化せずに配置している。 ・ 巻末に「クラスのみならず『道徳授業を創り出そう』」を設け、話合いの進め方やウェルビーイングカードの使い方を記載している。
	(2)	・ 重点としている内容項目 A－1 自主、自律、自由と責任 B－6 思いやり、感謝 C－10 遵法精神
	(3)	・ 全ての教材に「考えよう」を設け、心情や自分の考えを問う発問を位置付けている。 ・ 全ての学年でウェルビーイングカードを活用した問題解決的な学習対応教材を配置している。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・ 教材最後に「考えよう」という発問を位置付け、資料の内容やねらいによって、自分と重ねて考えたり、複数の人物の立場から考えたりできるようになっている。 ・ 「深めよう」で、より道徳的価値を問う深めの発問を位置付け、ねらいに迫れるようになっている。
	(2)	・ すべての教材の最後に「memo」欄があり、授業中に考えたことや気付いたことを自由に記述することができる。また、巻末付録のウェルビーイングカードを使って考えたり話し合ったりすることができる。
	(3)	・ 二次元コードで、映像や写真資料を活用できる。
3 印刷・製本等	(1)	・ AB判 ・ 1 年 総ページ 156 重量 321.1 ・ 3 年 総ページ 164 重量 334.5
	(2)	・ UDフォントを使用 ・ 本文直下、5行ごとに行番が付いている。
	(3)	・ 目次は4つの視点別に教材を色分けしている。 ・ 目次には4つの視点のマークの説明が記載されている。 ・ 巻末には郷土に関連する資料とウェルビーイングカードの補助教材がある。